

No.	事業名	重点施策	横断的 施策	事業概要	事業期間	令和6年度 事業費 当初予算 (単位:千円)	令和7年度 事業費 当初予算(予 定) (単位:千円)
基本施策36 芸術文化によるまちづくりの推進							
(1) 芸術文化を育む環境づくり							
1	市民館管理運営事業(文化ホール)			発表会や式典、総会などを開催できる市民館の文化ホール、会議室等を管理し、市民等の利用に供する。	R4以前～ R12以降	19,298	18,265
2	市民館管理運営事業(音響設備保守点検)			文化ホール音響設備は平成12年に設置され、平成19年度以降は定期的な保守点検を実施していない。そのため、突発的なトラブルの危険性が高くなっていることから、安全で継続的な使用を図るために令和2年度から隔年で保守点検を実施する。	R3以前～ R11以降	440	/
3	市民館維持整備事業(市民館整備事業)			令和7年度は、水銀灯の生産終了に伴う体育ホールアリーナ照明のLEDへの切り替え、昭和54年設置の古い機器で部品がないため修理できない屋内消火栓ポンプユニットの更新、前回の更新から20年が経過して傷んでいる文化ホール舞台吊物設備の麻ロープ5本(平成16年度更新)の更新を行う。 令和8年度以降は、老朽化した消防設備用屋内配線及び火災受信機(平成4年製)の更新、老朽化した舞台音響設備(平成12年度更新)の更新、文化ホール舞台照明設備の定期部品交換、白熱灯ボーダーライト(ステージ上に横一列に並んだライト群)のLEDへの切り替え、文化ホール棟の会議室等・体育ホール棟の休憩室等の照明のLEDへの切り替えを行う。	R4以前～ R12以降	627	41,623
4	文化会館管理運営費(経常分)			文化会館は、市の芸術文化の中核施設であり、今後も、多くの市民が利用できるように適切に施設の管理運営を行う。	R4以前～ R12以降	43,170	43,885
5	文化会館大ホール設備維持管理事業			大ホールで開催する文化イベントについて、来場者が満足できる良好で安心安全な舞台運営を行うため、老朽化した設備機器の維持管理を行う。 ・音響機器について、老朽化により操作不能または雑音等により正常に機能しないことが多々あるため、保守点検結果を基に、音響卓をオーバーホールし、必要な修繕を行う。 ・照明機器について、老朽化により操作不能または正常に作動しないことがある。照明調整卓は修繕不可であり、古い機種のため交換部品も製造されていないことから、機器更新が必要である。	R4以前～ R12以降	/	605
6	文化会館改修事業	3- (2)		文化芸術によるまちづくりを推進していくため、その拠点施設となる築後30年を経過した文化会館について、令和5～6年度に実施した老朽化調査及び中長期整備計画を基に改修を実施する。また、館内各所の雨漏りを解消するため、屋上防水工事を5箇年に分けて年次的に実施する。令和7年度は4期工事として、トイレ及び通路、電気室の屋上防水工事を実施する。	R4以前～ R12以降	30,545	18,545
7	(主催)アウトリーチ事業	3- (2)		普段コンサートホールに行くことが難しい人にも、身近な場所で誰もが参加しやすい文化芸術の鑑賞・体験機会を提供するため、地域交流センターや学校、保育所などの福祉・教育施設や民間施設等でアウトリーチ事業を実施する。 市民一人ひとりの文化習慣を高め、地域の文化力向上を目指し、レベルの高い企画を提供する。	R4以前～ R12以降	600	600

8	(主催)子ども文化ふれあい事業	3-(2)		子ども達に多彩なアーティストによる優れた公演を間近に体験させることにより、豊かな感情や情緒を育み創造的で個性的な価値観を養うため、不二輸送機ホールに市内全小学6年生を一同に集めて芸術文化鑑賞会を実施する。 令和7年度は、「能と狂言の世界・ワークショップ」を開催する。	R4以前～ R12以降	3,236	2,854
9	(主催)山口県交響楽団演奏会			市民が生のおーケストラ演奏に触れる機会を提供し、身近な芸術文化に親しむ環境づくりを推進するため、山口県交響楽団の演奏会を不二輸送機ホールで継続開催する。	R4以前～ R12以降	531	544
10	(主催)NHK公開番組			NHK公開番組の収録が不二輸送機ホール等で事業ができるよう申請し、実施が決定した際には市民が公開番組の収録に入場者として参加し、多様な芸術文化の鑑賞や体験の場を提供する。	R4以前～ R12以降	217	250
11	きららガラス未来館管理運営事業		スマイルエイジング	本市の特色の一つである「ガラス文化」の推進において必要不可欠な施設であり、ガラス体験学習の場として市内外から多くの人に来館していただけのよう、適切な施設の管理運営を図る。 なお、平成20年度から指定管理者制度を導入し、民間活力を活かした施設の効率的運営を行っている。	R4以前～ R12以降	41,533	41,534
12	きららガラス未来館維持整備事業(溶解炉)			本市の特色の一つである「ガラス文化」の推進において、ガラスアート作品の制作に不可欠な設備である溶解炉、グローリーホール及び徐冷炉の定期的な小規模修繕を行うことで、設備の適正な維持管理を行う。	R4以前～ R12以降	600	3,025
13	きららガラス未来館敷地内法面等補修事業 (きららガラス未来館修繕事業)			きららガラス未来館の屋外キュービクルについて、令和3年度から電気保安協会より「腐食が著しく早めの対処が望ましい」と指摘があったことから、令和5年度に設計業務を委託し、令和6年度中に設備の更新を図る。 また、その土台部分についても大雨等の影響によりコンクリート部分が剥き出しになっているため、屋外キュービクルの更新に併せ、法面部分の修繕も行う。	R5～ R6	24,031	
(2)芸術文化活動の推進							
14	(主催)ピアノマラソン大会		スマイルエイジング	ピアノマラソン大会は、不二輸送機ホールが開館当初から保有する、世界最高峰のピアノとして多くのピアニストから愛されているスタインウェイピアノを、広く市内外の人に弾いてもらう機会を提供するとともに、ピアノ演奏の素晴らしさを体感・共感することを目的に、3日間にかけて開催する事業で、1人1曲ずつを連続して演奏し、トータルの演奏時間を記録する催しである。 不二輸送機ホールが開館した翌年度(平成7年度)から実施している事業で、近隣で同様の事業を実施している自治体はなく、当館の特徴的事業である。	R4以前～ R12以降	825	841
15	(主催)少年少女合唱祭		スマイルエイジング	第21回国民文化祭・やまぐち2006「少年少女合唱祭」で得られた成果を引き継ぎ、児童合唱グループの交流及び活性化を目的として、県内の少年少女合唱団による発表会を開催する。	R4以前～ R12以降	359	381
16	市民文化祭		スマイルエイジング	市民の自発的な芸術文化活動を活性化させるため、日頃の成果発表の機会として市文化協会と共同で継続開催する。(9部門で実施/市民音楽祭、日本舞踊祭、邦楽、華道、展覧会、茶会、洋舞演劇、俳句、短歌) 出展数が減少していることから、出品者の創作意欲を維持するため、また展覧会の来場者を増やすための手法として、令和5年度からは会場をおのだサンパーク2階大催事場とし、出品数や来場者数が増加した。	R4以前～ R12以降	351	349
17	児童生徒書道展			書道の理解と普及を図るとともに市民文化の向上に寄与するため、市内の幼稚園児、保育園児、小学生及び中学生から作品を募集し、出展作品を市内商業施設(おのだサンパーク2階大催事場)に展示する。	R4以前～ R12以降	133	158

18	民間連携による文化活動の場づくり事業			活動意欲のある市内の芸術家を中心に結成された「アーティストBOX」の企画運営により、多彩な芸術のコラボレーション展覧会を開催することで、会員相互の交流を図るとともに市民が気軽に芸術文化に触れる機会を提供する。	R4以前～ R12以降	47	27
19	かるた振興委員会設置事業	3- (2)		かるた振興委員会は12名で構成されており、メンバーは、永世クイーン、元クイーン、山陽小野田かるた協会、小・中学校、高校、理科大等で構成されている。小倉百人一首かるたの普及振興及び活用に関し市民から意見を聴取することで、効果的な事業を実施するために設置している。【R7廃止予定】	R4以前～ R6以降	48	
20	文化協会の育成・支援、補助事業		スマイルエイジング	文化協会への支援及び補助を行うことで、市民の幅広い芸術文化活動への参加や質の高い芸術文化に触れる機会の充実に資する。	R4以前～ R12以降	1,100	1,100
21	龍王伝説保存会の育成・支援、補助事業			山口きらら博で発表した創作舞踊「龍王伝説」を継承・発展させるために結成された龍王伝説保存会へ補助を行い、活動を支援する。(平成17年に保存会結成)	R4以前～ R12以降	180	180
22	市内学校関係の育成・支援、補助事業			市内小・中学校及び高等学校の文化芸術活動を支援するため、全国大会等へ出場する者へ補助金を交付するなど、支援を行う。	R4以前～ R12以降	305	305
23	現代ガラス展開催事業	3- (2)	スマイルエイジング	本市の特色の一つであるガラス文化を推進するため、平成13年度から3年に1度開催している「現代ガラス展in山陽小野田」の第10回展に向けての準備年である。ガラス作家・故竹内傳治の若手作家を育成したいという思いから、45歳という年齢制限を設け、今では全国的な知名度を誇る若手登竜門のコンペティションとなっている。第10回展は、これまでの開催内容に工夫を凝らしながら、ガラス文化の魅力をさらに引き出し、交流人口の増加を図るほか、第9回展にも開催した県立萩美術館・浦上記念館や東京・上野の森美術館を会場とした特別作品展等を開催することにより、市内外へのガラス文化発信に加えて、本市の魅力を首都圏で広く発信する。	R4以前～ R12以降		3,000
24	ガラス文化推進事業	3- (2)	スマイルエイジング	市内外の行事等で出張ガラス体験教室を開催し、多くの人がガラス文化に興味を持つきっかけになるとともに、きららガラス未来館をPRし来館を促すことで、本市特有のガラス文化の推進を図る。また、公共施設等に展示している市所有のガラスアート作品を定期的に展示替えし、市民が身近に様々なガラス作品を鑑賞する機会を提供する。	R4以前～ R12以降	382	
25	ガラスアート作品貸出し支援事業	3- (2)		本市のガラス文化を市内外に発信する取組の一つとして、令和4年8月から市が所蔵している竹内傳治先生のガラスアート作品13点と現代ガラス展受賞作品27点の計40点を、市内に事務所又は活動の拠点がある団体等に無料(運搬費用は有料)で貸し出している。そのため、突発的に事業者から作品を回収する必要が生じた場合の運搬費用を計上する。※令和5年度にガラスアート作品単品でも条件を満たせば、貸し出しできるよう要綱改正を行った。	R4以前～ R12以降	50	598
26	CLASS GLASS推進事業	3- (2)		本市では、公設ガラス工房「きららガラス未来館」の活用や全国規模の現代ガラス展を開催するなど、ガラスアートによるまちづくりに取り組んでいる。当該施設は、指定管理により小野田ガラス㈱が運営しており、ガラス造成作家が、自身のガラス作家活動をしながら体験学習の指導等に従事している。故に、小野田ガラス㈱と協力し、ガラスアート作品をブランド化し、販売を行うことにより、ガラスアートのまちの取組との相乗効果により、市の知名度向上に加え、ふるさと納税の増加等を図る。なお、令和5年度からは、当該事業の主たる部分を小野田ガラス㈱に委託し、ブランドの運営・発展を推進していくこととしている。	R4以前～ R12以降	2,415	657

27	かるたによるまちづくり推進事業	3-(2)	スマイルエイジング	市内公共施設や幼・保育園、小・中学校の授業の一環としてかるた教室を開催することで、市内全域への競技かるたの普及に努める。 また、教室参加者や競技者を対象としたかるた大会を開催することにより、競技者のさらなる増加を図ることで、「かるたのまち山陽小野田」の魅力を発信し、交流人口の拡大を図るなど、かるたによるまちづくりを展開する。	R4以前～ R12以降	635	637
28	芸術文化アドバイザー設置事業			芸術文化活動の活性化及び本市の特色を活かした芸術文化によるまちづくりの推進を目的に、専門的な立場からの助言を得るため、芸術文化アドバイザーを設置している。 現在は、ガラス、かるた競技、音楽のアドバイザーを設け、各種文化事業の開催に当たり助言を得ることで、事業内容の充実を図っている。(各分野2名/合計6名)	R4以前～ R12以降	200	50
29	西川悟平 奇跡の7本指ピアニスト公演開催事業			市文化協会設立20周年事業「西川悟平 奇跡の7本指ピアニスト公演」(R7.6.13/昼:山口東京理科大学、夜:きららガラス未来館)に併せ、市民に広く世界的に著名なピアニスト・西川悟平氏のピアノ演奏会を本市の文化芸術の拠点施設「不二輸送機ホール」に招へいし、比較的安価な料金で提供することにより「芸術文化によるまちづくり」を推進する。 なお、特定財源として、入場料収入及び企業版ふるさと納税を活用することで、一般財源の拠出は見込んでいない事業スキームとする。	R7以前～ R7以降		2,350
30	中学生の文化・スポーツ活動体制整備推進事業		スマイルエイジング	令和6年10月に策定した「山陽小野田市中学生の文化スポーツ活動体制整備基本方針」に基づき、中学生の新たな地域クラブ活動の実施に向けて、令和7年度においては実証事業の実施し、令和8年4月からの休日における学校部活動の地域移行に向けて取組を進める。 体制整備の検討については、引き続き協議会を開催することで、今後の運営団体や実施主体について調整を図る。また、中学生の活動環境を整備するために指導者の確保や派遣、活動場所の調整など実証事業を実施することで課題を洗い出し、次年度以降の活動に反映する。	R5～ R12以降	150	6,553